

環境保護活動

社会の持続可能な発展に向け、全社で環境活動に取り組んでいます。

事業所における省エネルギー・省資源への取り組みのほか、資産運用等を通じた環境保護への貢献に努めています。

環境基本方針

当社は、「環境基本方針」を制定し、社会の一員として環境保護および環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。

環境基本方針

基本的な考え方

第一生命は、「社会からの信頼確保」という経営基本方針に基づき、社会の一員として地域の環境保全・地球環境保護および循環型社会の構築を企業の社会的な責任と捉え、日常的かつ継続的に以下の行動指針に沿って環境保全に取り組めます。

行動指針

生命保険事業における環境配慮行動

- 1 事業活動において、環境保全に関する諸法規や第一生命が同意した憲章・協定・指針等を遵守し、常に環境への影響に配慮した行動を行うよう努めます。

事業活動に伴う環境負荷の低減

- 2 事業活動に伴う資源・エネルギーの消費や廃棄物等の排出について、省資源、省エネルギー、資源のリサイクル、およびグリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。

環境啓発活動の推進

- 3 行動指針の徹底を通じて役職員の環境問題に対する意識の向上をはかるとともに、環境保全活動への助成・支援をはじめとした環境啓発活動に取り組み、広く社会に貢献します。

持続的な環境改善の推進

- 4 環境取組全般に関する目的・目標を設定し、取組方針や取組状況と合わせて取組結果の検証と積極的な開示に努め、継続的な環境改善に取り組めます。

推進体制

当社は、社長を最高責任者とする環境取組体制を構築し、PDCAサイクルにのっとり、全社で環境保護取組を強力に推進しています。

Web 環境取組推進体制

省エネ・省資源『Ecoダイエツト運動』

省エネ・省資源をより一層推進するために、2009年度より環境配慮に向けた全社横断的な取り組みである『Ecoダイエツト運動』を展開し、中長期的にわたる継続的な環境取組を強化しています。

■ 省エネへの取り組み

エネルギー消費量、CO₂排出量の削減取組

当社は、エネルギー消費量およびCO₂排出量を管理しており、全事業所における電力消費量を2012年度まで前年度比で毎年2%削減を目標とし、全社を挙げて省エネ取組を推進しています。なお2009年度は、主要3拠点(日比谷・府中・大井)において、設備更新や役職員の省エネ取組により、電力消費量前年度比約4%削減を達成しました。

電力消費量とCO₂排出量 ■日比谷本社 ■府中事業所 ■大井事業所
電力消費量(千kWh)

年度	日比谷本社	府中事業所	大井事業所	合計
2007	10,510	16,245	15,778	42,533
2008	10,186	16,086	14,735	41,007
2009 (年度)	9,850	15,188	14,140	39,178

CO₂排出量(t)*

年度	日比谷本社	府中事業所	大井事業所	合計
2007	5,400	8,342	7,305	21,047
2008	5,164	8,339	6,700	20,203
2009 (年度)	4,922	7,827	6,415	19,164

* CO₂排出量については「温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度」にのっとり算出しています。

投資用ビルの省エネ取組

多くの投資用不動産を所有している当社は、第一ビルディングをはじめとした建物管理会社と連携し、空調・電源設備等の運用改善や省エネ設備の入れ替え等、積極的に省エネに取り組んでいます。

Web 投資用ビルの省エネ取組

■ 自然エネルギーの活用

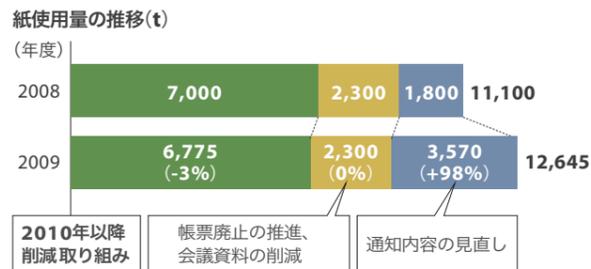
地球温暖化防止に向けた取り組みとして、2009年度に年間購入量としては生保業界最大規模となる300万kWh(CO₂削減価値に換算すると約1,150t*)のグリーン電力を購入しました。また第1回「定時株主総会(2010年6月)」の会場で使用した電力の一部をグリーン電力化しました。

* CO₂排出量については、東京都環境確保条例で定められる「地球温暖化対策計画書」で指定された係数により換算しています。

■ 省資源への取り組み

紙削減に向けた取り組み

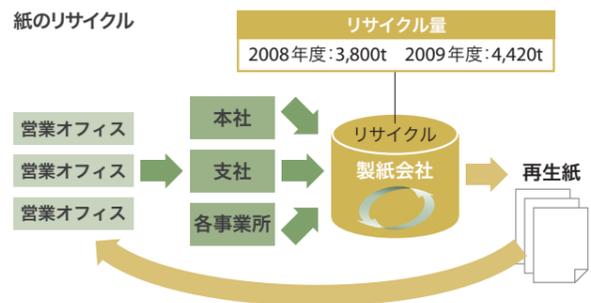
当社は、お客さま宛の各種通知の発信等大量の紙資源を使用しています。従来から、紙使用量の削減を進めており、2009年度は、約款のCD-ROM化やパンフレット・設計書等の紙使用の抑制を推進しました。一方、OA用紙やお客さま宛の通知等は株式会社化に伴う一時的な要因により増加したため、2009年度の全社紙使用量は12,645tと、前年に比べ1,545t増加しました。引き続きOA用紙の全社的な削減等抑制に向けた取り組みを継続していきます。



- ご提案・ご契約時に使用する印刷物等 (商品パンフレット、保障内容設計書、申込書、ご契約のしおり・約款等)
 - OA用紙、コピー用紙 (プリンターで出力する各種帳票、社内の会議資料等)
 - センターコンピューターで印刷するお客さま向けの通知等 (生涯設計レポート、株式会社化に伴うお客さま通知物等)
- ※ ()は前年度増減を表示しています。

■ リサイクルの促進

紙削減に取り組むとともに、廃棄書類の一部をリサイクルすることで、環境負荷低減を図っています。各事業所より回収し、本社で集中管理している廃棄書類は、すべて製紙会社にて溶解処理の上、ダンボールやトイレットペーパーといった再生紙へリサイクルしています。2009年度は4,420tの廃棄書類のリサイクルを行いました。



「グリーン購入」の推進

2009年度より事務用品の社内一括購買システムの商品ラインアップを原則として環境対応商品に改め、環境負荷の小さい商品を優先的に購入する「グリーン購入」の推進を図っています。2009年度では全体購入分のうち88%がグリーン購入となりました。

Web 「グリーン購入」の推進

■ 環境パフォーマンスデータ

当社は以下の各環境パフォーマンスデータを管理し、環境負荷低減を推進しています。

	対象事業所	2008年度	2009年度	前年度比	増減理由
紙総使用量(t)	全社	11,100	12,645	114%	●株式会社化に伴うお客さま宛通知物の増加(上記要因を除くと前年度比で4%削減)
紙のリサイクル処理量 ^{※1} (t)	日比谷本社、大井事業所、支社、営業オフィス ^{※2}	3,800	4,420	116%	●株式会社化に伴う商号変更や保険法対応によるパンフレットや帳票の廃棄量の増加
電力消費量(千kWh)	日比谷本社、府中事業所、大井事業所	41,007	39,178	96%	●社内での省エネ活動(照明のこまめな消灯、控えめな冷暖房温度設定等)
その他エネルギー消費量 ^{※3} (GJ)	同上	31,115	28,535	92%	●冷暖房・照明等の設備改善
水道使用量 ^{※4} (m ³)	同上	173,602	166,673	96%	●トイレ等の設備改善

※1 リサイクル処理量には、当年度以前に作成したものも含まれます。
 ※2 日比谷本社・大井事業所、各支社・営業オフィスから回収された書類、および物流倉庫に保管され、改訂等により回収された帳票等、本社で一括廃棄しているものを対象としています。
 ※3 その他エネルギーは、都市ガス(日比谷本社・府中事業所)、重油A(府中事業所・大井事業所)、蒸気(日比谷本社)の3項目の合計値で表示しています。
 ※4 水道使用量は上水道(日比谷本社・府中事業所)、下水道(日比谷本社・府中事業所・大井事業所)の合計値で表示しています。

■ 資産運用を通じた環境への取り組み

■ 社会性・公共性に配慮した資産運用

当社は、ファンドへの出資を通じて、環境・エネルギー・少子高齢化に取り組む企業・団体を支援するなど、広く社会貢献・環境保護等の社会的課題に配慮した投資を行っています。

■ 環境に配慮した不動産投資

当社は、省エネ設備導入や建物の緑化により、環境に配慮したビル建築を進めるとともに、既存の建物に対しては、大規模物件を中心に空調設備の運用改善や設備改修等の省エネ取組を推進しています。また、遊休物件の用途・性能を変更し、建物を再生する取り組みも実施しています。

Web 不動産投資における環境保護取組事例

■ SRIファンドを通じた環境保護への取り組み

当社のグループ会社であるDIAMアセットマネジメントは、SRI(社会的責任投資)の一環として、CSR取組企業に投資するファンドを設定・運用し、環境保護への取り組みを支援しています。

DIAMアセットマネジメントが設定・運用するSRIファンド[※]

ファンド名称	概要	設定時期
DIAM高格付インカム・オープンSRI(愛称:ハッピークローバーSRI)	CSR取組企業の株式と高格付資源国の公社債を主な投資対象とするファンド。	2005年
自然環境保護ファンド(愛称:尾瀬紀行)	CSR取組企業の株式と高格付資源国の公社債を主な投資対象とするファンド。販売会社と委託会社が収受した報酬の一部は、(財)尾瀬保護財団に寄付される。	2006年

※ これらのファンドには元本割れのリスクや手数料等商品に関わる注意点がります。各ファンドの概要、リスク、手数料等は、DIAMアセットマネジメントのウェブサイトでご確認いただけます。なお、上記は当社グループの社会的責任投資(SRI)を紹介するものであり、ファンド(投資信託)の勧誘を目的とするものではありません。当該ファンドは、当社での取り扱いはありません。

■ 生物多様性保全への取り組み

■ 全国各地での環境保全ボランティア

当社は、地域社会貢献活動の一環として環境保全ボランティアを実施しており、2009年度は全国32カ所[※]で約9,500名の職員が参加しました。

地域のお客さまと一体となって活動を推進している「エコキャップ運動」[※]、自然環境の保全と地域の美化を目的とした海岸清掃活動や植林活動等、さまざまな取り組みにより生物多様性保全に貢献しています。



金沢支社の植林活動

※ ペットボトルキャップを収集して再資源化をすることによって地球温暖化防止に貢献し、さらにその収益を発展途上国の子どもたちにワクチンとして寄付する運動。
 <2009年度>
 エコキャップ回収数…約830万個
 寄付したワクチン数…約1万人分

Web 全国各地での環境保全ボランティア

■ 緑の環境デザイン賞

本賞は、全国の市民団体・公共団体等から公募した都市部の緑化プランに対して資金援助を行っています。2009年度より、都市の環境共生に必要な緑地機能を評価基準に加え、地域におけるヒートアイランド化の緩和や生物多様性保全に効果のある緑化プランを積極的に支援しています。

VOICE

第20回 緑の環境デザイン賞受賞者の声

まちの活性化と環境改善を両立

近年、快適なまちには緑の空間が必要とされています。私たちが江戸文化の残る浅草において、情緒あふれる緑のまちづくりを進めてきました。今回の受賞を励みに、江戸文化と緑を融合させた、風情のあるまちづくりを進め、多くの方に浅草へ足を運んでいただけるよう、より一層努力していきます。



みちびき花の辻商店会 会長 辻村 勇様

Web 緑の環境デザイン賞